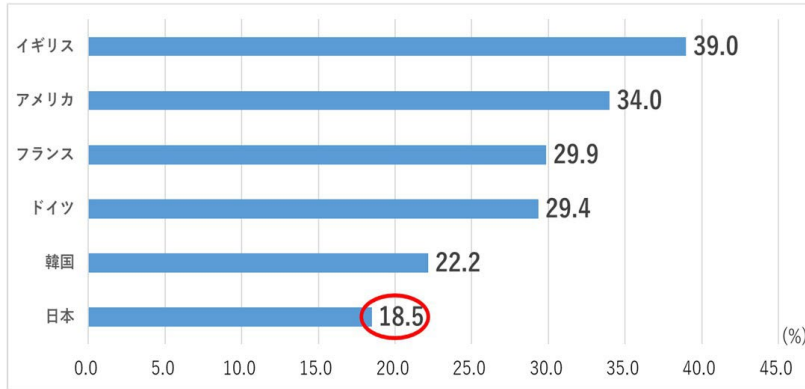


科学技術・学術分野における男女共同参画の推進に係る現状①

諸外国の研究者に占める女性割合



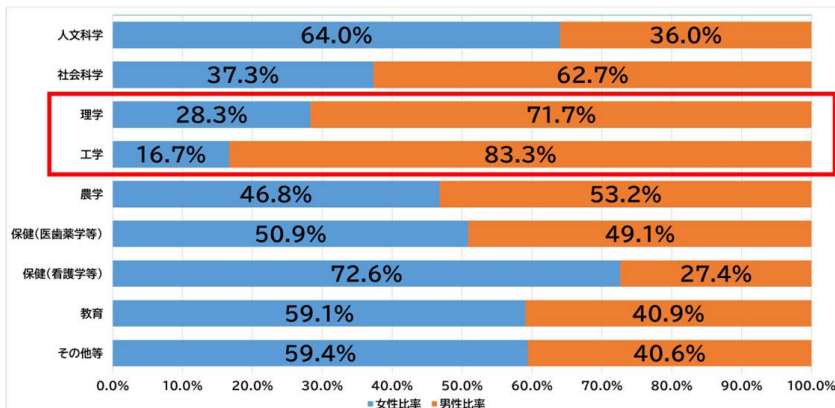
(出典) 総務省「科学技術研究調査」(令和6年)
 OECD “Main Science and Technology Indicators”
 米国立科学財団(National Science Foundation: NSF) “Science and Engineering Indicators”

OECDによる学習到達度調査(15歳時点)

	日本			OECD平均		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
科学的リテラシー平均得点	547点 1位	548点 1位	546点 1位	485点	485点	485点
数学的リテラシー平均得点	536点 1位	540点 1位	531点 1位	472点	477点	468点
読解力平均得点	516点 1位	508点 1位	524点 4位	476点	464点	488点

※OECD PISA (Programme for International Student Assessment) 2022 より作成
 ※順位はOECD加盟38か国中。
 ※調査段階で15歳3か月以上16歳2か月以下の学校に通う生徒が対象(日本では高校1年生)

大学(学部)の学生に占める女性の割合



(出典) 文部科学省「令和6年度学校基本統計」
 ※その他等は「商船」、「家政」、「芸術」及び「その他」の合計。

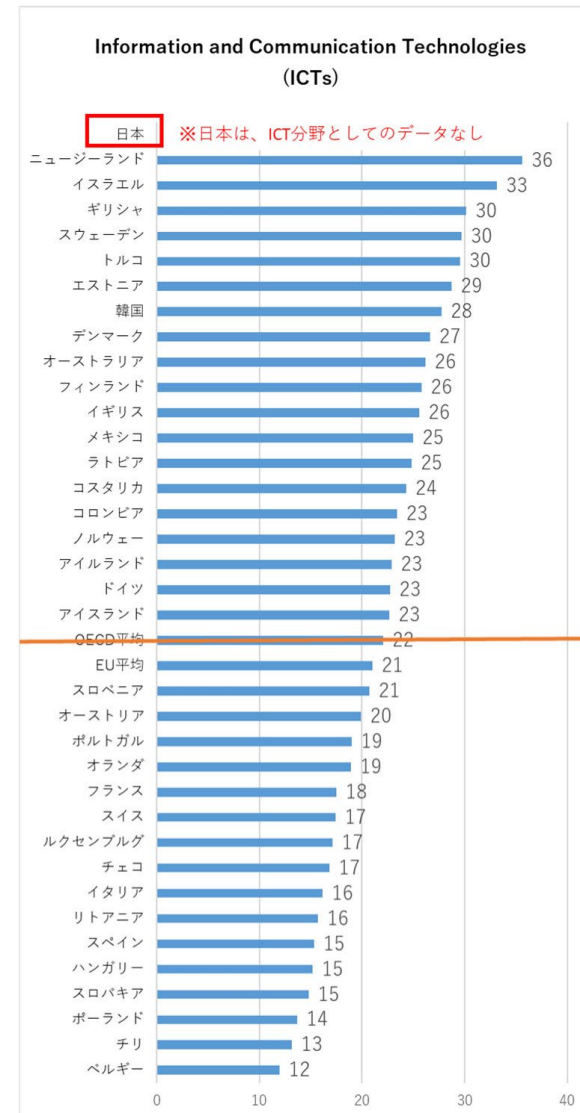
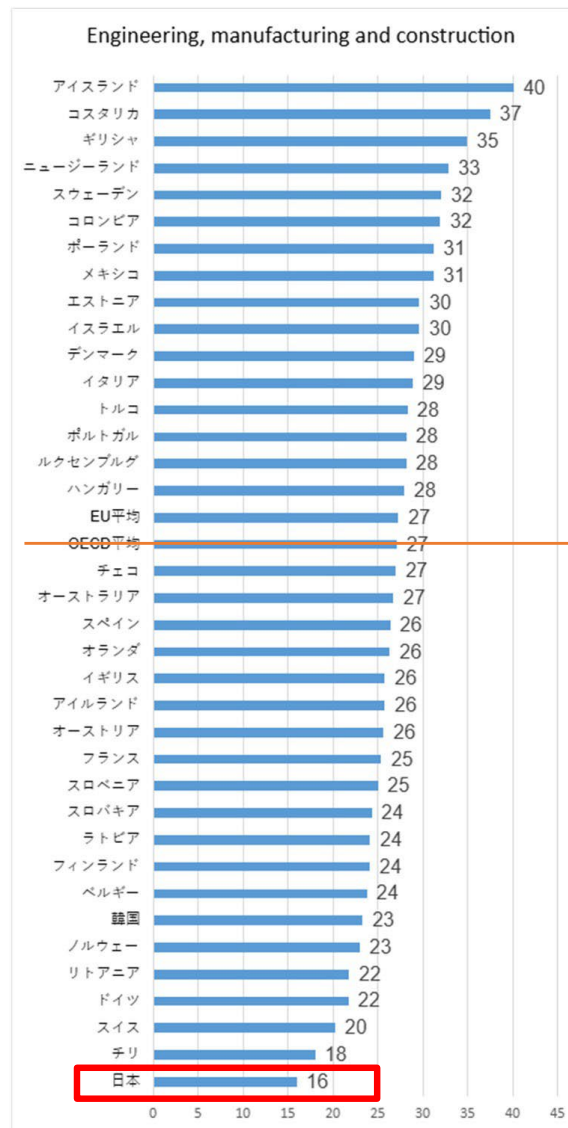
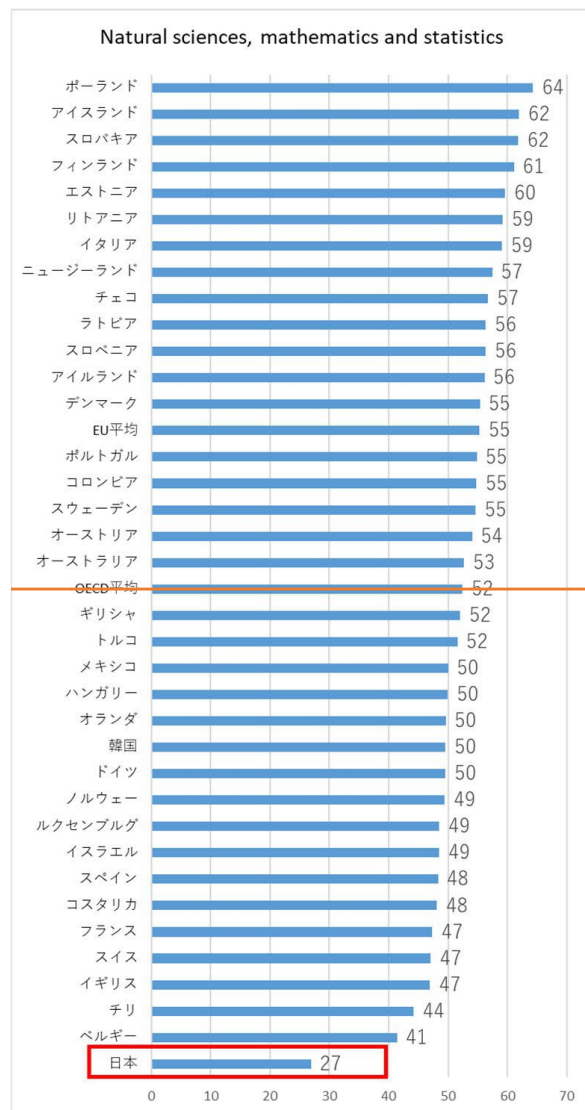
OECDとは

経済協力開発機構:「世界最大のシンクタンク」として様々な分野の政策調整・協力、意見交換などを行っている。教育の分野では国際的な調査・研究及び、比較分析を行うとともにこれを広く公表し、各国における教育改革の推進と教育水準の向上に寄与することを目指している。

加盟国リスト:アメリカ合衆国、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、カナダ、スペイン、ポルトガル、オランダ、ベルギー、ルクセンブルク、スウェーデン、デンマーク、ノルウェー、アイスランド、スイス、オーストリア、ギリシャ、トルコ、日本、フィンランド、オーストラリア、ニュージーランド、メキシコ、チェコ、ハンガリー、ポーランド、韓国、スロバキア、チリ、スロベニア、イスラエル、エストニア、ラトビア、リトアニア、コロンビア、コスタリカ

科学技術・学術分野における男女共同参画の推進に係る現状②

OECD諸国における分野別大学等入学者女性割合(2022年)



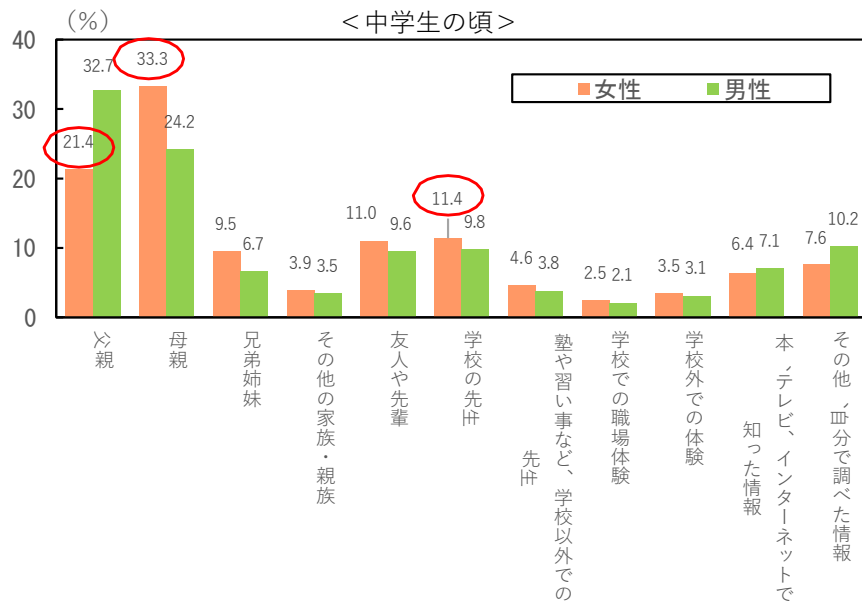
※OECD.statより作成 2022年データ (2024.11.12更新)

女子の進路選択への親の影響について ～内閣府調査より～

【調査結果】

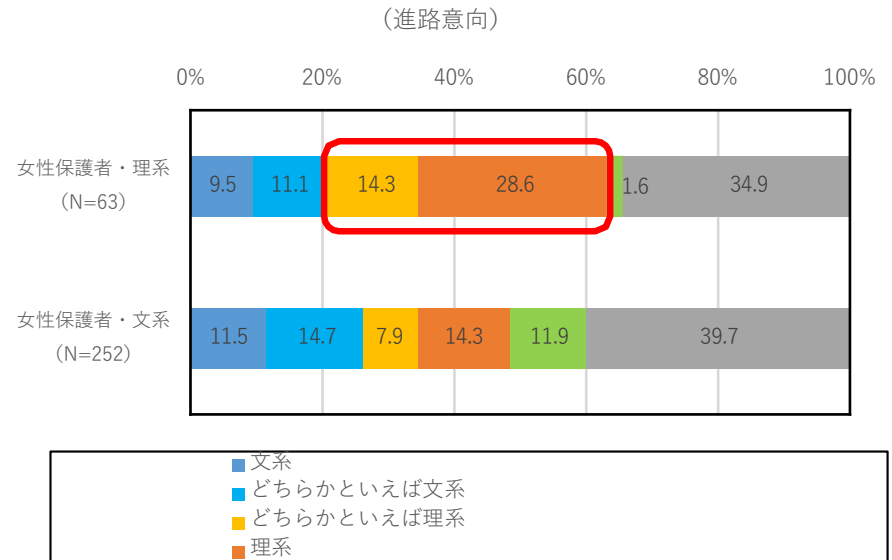
- ・中学生の頃に、働く上でのイメージや進路選択において影響を受けた人は、女性は母親、男性は父親と、同性の親の影響を顕著に受けている。
- ・また、女性保護者の最終学歴が理系の場合、その子（女子）は、将来の進路を「理系」とする割合が高くなっている。

進路選択において影響を受けたもの



※出所：「多様な選択を可能にする学びに関する調査」
(平成30年度内閣府調査)

女性保護者の最終学歴とその子(女子)の進路意向



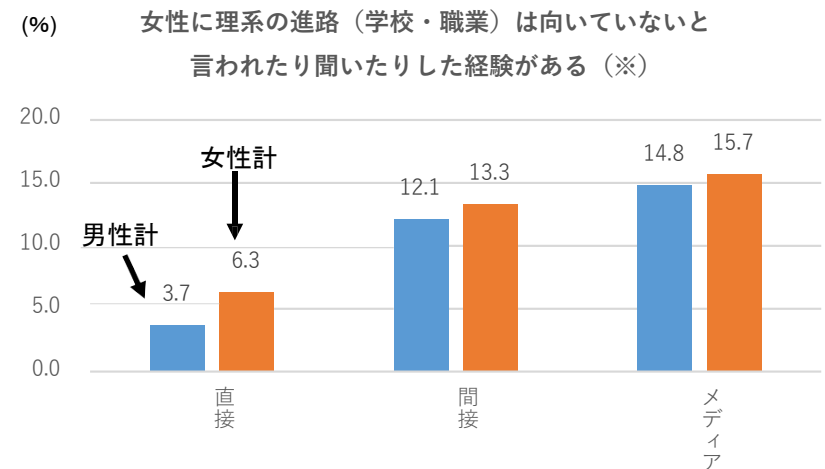
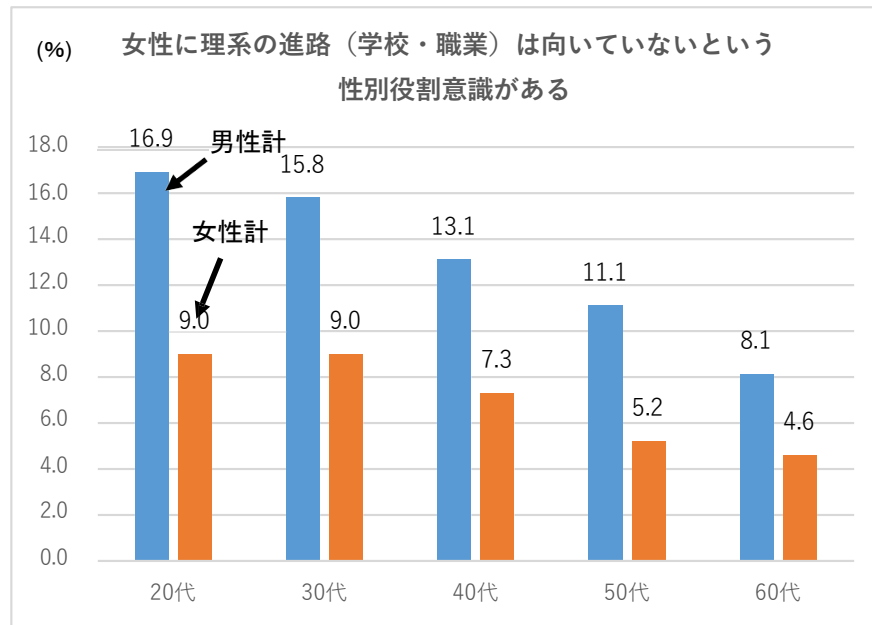
※出所：「女子生徒等の理工系進路選択支援に向けた生徒等の意識に関する調査研究」(平成29年度内閣府調査)
調査対象は中学2年生。

理系の進路選択に関するアンコンシャス・バイアスについて

～「性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に関する調査研究」より～

【調査結果】

- ・「女性に理系の進路（学校・職業）は向いていない」という測定項目について、「そう思う」又は「どちらかと言えばそう思う」と回答した者の割合は、いずれの世代でも男性の方が高い。
- ・一方、そうした発言を言われたり聞いたりした経験のある人数の割合は、直接・間接を問わず、男性より女性のほうが高い。特にメディアで見たり聞いたりしたことがあると回答した者の割合は、男女ともに約15%となっている。こうした経験が女子学生の進路選択に影響を与えていることも考えられる。



※【直接】直接言われたり聞いたり したことがある
【間接】直接ではないが言動や態度からそのように感じたことがある
【メディア】メディアで見たことがある

※出所：内閣府男女共同参画局

令和4年度性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に関する調査研究

女子生徒の理工系進路選択を阻害する アンコンシャス・バイアスへの気づきを促す啓発動画

【事業概要】

- ・「女子は数学が得意ではない」等のアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）が、女子生徒の理工系進路選択を阻害することがあります。
- ・そうしたアンコンシャス・バイアスへの気づきを促すことを目的とした動画を、男女共同参画局YouTubeチャンネルにて公開しました。
- ・動画は、学校の授業や実験における教員の声掛け、家庭における保護者の反応など、4つの事例から構成されています。

★動画は下記より御覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=j97LxeLB-TQ>

Case1



★数学で高得点を取った女子生徒に教員が掛けた言葉は・・・

Case2



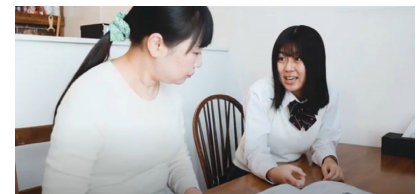
★理科の実験で器具操作と記録の役割分担が指示されるが・・・

Case3



★ガスバーナーの扱いに慣れていない女子生徒への教員の配慮は・・・

Case4



★工学部の大学案内を見て楽しそうに話す女子生徒への母親の反応は・・・



アンコンシャス・バイアスを知っていますか？

何かを見たり、聞いたり、感じたりしたときに、無意識に
" こうだ " と思い込むことで、だれにでもありうるものです

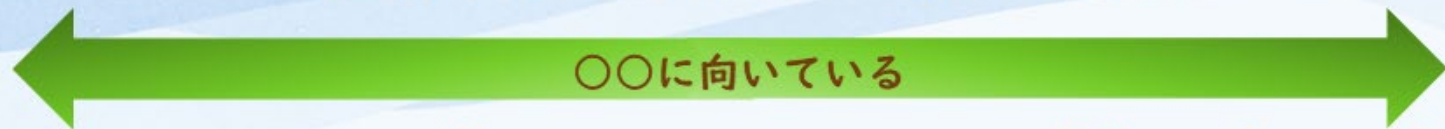
- 女性に理系の進路（学校・職業）は向いていない
- 性別による向き、不向きがある

などは数多くあるアンコンシャス・バイアスの一部です

こうした思い込みは日常にあふれていますが、一人ひとりが
“思い込み” に気づくことができれば誰もが活躍できる社会
に近づくはずです



性別による向き不向き???

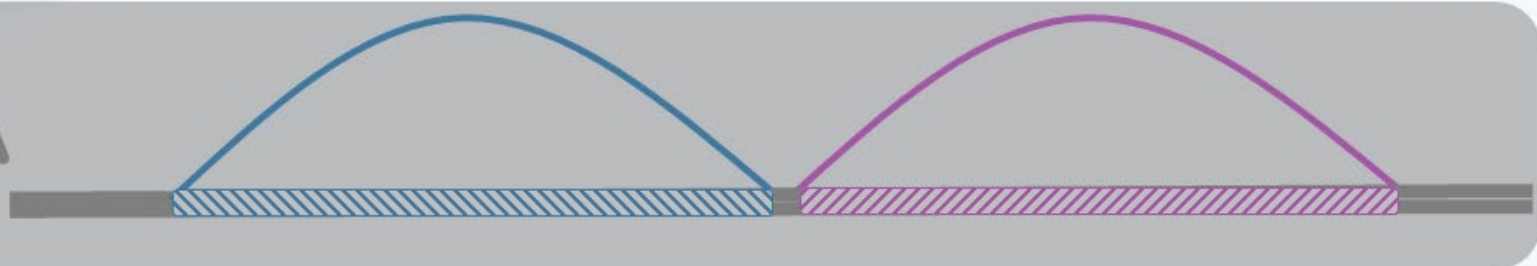


F

M

[イメージ図]

A



B



C



実際はAではなくCやBなど → 自分の可能性は性別によらない



埼玉大学マスコット
キャラクター
メリンちゃん